

応急手当を身につけよう

武雄消防署 救急係

夏になり、暑い季節がやってきます。水泳・花火と楽しい季節ですが、それに伴って事故も起きやすくなります。身近で起こる事故に備えて、応急手当の基本を覚えておきましょう。

熱中症

症状

- ・手足の痛み及び筋肉が硬直する。
- ・体がだるい、気分が悪い、頭痛やめまいが生じてくる。

見逃してはいけない症状

- ・意味不明の言動、もろもろ状態、うわごと。
- ・飲水できない。
- ・皮膚が赤く乾燥して触ると熱い。(発汗停止)

手当

- ・浅くて速い呼吸。
- ・意識がない、反応がない。全身けいれん。
- ・風通しのよい日陰や冷房が効いている室内に移動しましょう。
- ・涼しい場所に移動したら、体温を下げるために衣服を脱がせうちわや扇風機で風をあてましょう。
- ・氷水などが準備できれば、首、脇の下、太ももの付け根などを冷やしましょう。



熱中症のポイント

- ・発汗により脱水症状になり、水分だけでなく塩分も失われているので、スポーツドリンク及び塩分摂取が重要です。
- ・意識状態まで悪くなっていたらすぐに医療機関に運ぶか**119**番通報を行ないましょう。



担当:白川

やけど

手当

- ・やけどは、すぐに水で冷やすことが重要です。冷やすと、痛みが軽くなるだけでなく、やけどが悪化することを防ぐこともできます。
- ・靴下など衣類を着ている場合は、衣類ごと冷やしましょう。
- ・通常、日焼け(赤くなっているだけ)のみは、やけどとして治療の対象にはなりません。

やけどのポイント

- ・長過ぎる冷却や氷片の直接接触はかえって組織の損傷を強めてしまいます。
- ・水疱がある時は破れないように冷却します。
- ・大きなやけどの場合は、冷却後に乾いた毛布などで覆い、体温の低下を防ぎます。



担当:池田

武雄消防署では、応急手当講習の申し込みを随時受付けています。武雄消防署までご連絡ください。

応急手当講習会を開催しませんか？



5月に武雄高校で開催された応急手当講習会。消防署から5名、女性消防団から2名が参加し、応急手当の基本やAEDについての説明、実践的講習を行いました。

☎ 武雄消防署 救急係 ☎ (23)2151